

対象事業の名称：浦賀警察署新築工事

● 環境配慮検討書の概要

事業の概要	事業の種類	第3種事業 建築物の建設
	計画内容	位置 横須賀市久里浜1-381-5 規模 鉄筋コンクリート造地上4階 延床面積約3,625㎡ 他
	目的	現在の警察署は平成13年の耐震診断で大規模な補強が必要と診断され、診断時からさらに建物自体の老朽化が進行していること、また、狭隘対策として増築したものの庁舎内の諸室の配置が複雑化し、利用者の施設内移動に支障をきたしていることから建て替えるもの。
	計画地の選定理由	京急久里浜駅から北西約200mに位置し、市道4593号線に面しており利便性が良いため、当該用地を計画地として選定した。
環境	自然・社会環境的要素	
	植物・動物・生態系	
	緑の保全又は緑化	郷土種、在来種など景観に合った樹種・高さの選定及び敷地境界に面して緑化を行い、また、県有施設の緑地確保に関する実施要綱及び横須賀市みどりの基本計画に基づく緑化率・緑化面積を確保する。
	景観	建物の配置及び外壁の色彩について横須賀市景観条例に基づき、街の景観に配慮した計画とする。庁舎配置を前面道路からセットバックすることにより、周辺や前面道路からの圧迫感に配慮した計画とし、庁舎の色彩には周囲となじむものを選定予定としている。等
	文化財	
	日照障害	東側マンション住戸へ日影が障害しないように配慮した建物配置とする。東側のマンション及び公舎の間になるべき日影が落ちるような配置計画としている。
	公害防止的要素	
	大気汚染	工事中における建設機械は排出ガス対策型を使用し、土工事時の粉塵については散水等で対策する。発生土運搬、生コン、材料搬出入での車両の待機スペースを場内に設けて敷地外での駐停車を排除し、アイドリングストップと空ぶかし禁止を原則とする。
	土壌汚染	発生土搬出前に受入地指定の地質分析を実施する。なお、土壌汚染が判明した場合は、適切な処理を講じる。
	騒音	工事中は敷地周囲に万能鋼板による仮囲いを設置する。工事中における建設機械は低騒音・低振動型を使用する。空調・給湯熱源の室外機には騒音計算を基に防音壁の採用を検討する。
振動	工事中における建設機械は低騒音・低振動型を使用する。また、基礎工事は地盤の状況から杭工事を要するが振動等に配慮した工	

配 慮 の 内 容		法及び機械の選定を行う。空調・給湯熱源の室外機には防振架台を設置し振動の低減を図る。
	防災・安全確保的要素	
	交通	
	渋滞	
	安全	工事中には適正な人数の交通整備員をゲート付近に配置し歩行者の安全に配慮する。
	地震対策	建築基準法・同施行令・構造計算指針及び建築学会各計算基準等に準拠する。また、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「官庁施設の総合耐震計画基準」等に基づき重要度係数1.50の割増をした構造計画とし、災害時の活動拠点の空間を確保する。
	地球規模等の環境要素	
	省資源	LED照明や太陽光発電設備を設置する。工事現場で使用する資材・機材等は県土整備局公共事業グリーン調達基準に準拠し、再生材など環境負荷の低減に資するものの調達に努める。等
	省エネルギー	LED照明を設置し、電力消費量を削減する。また、太陽光パネルを設置し、自然エネルギーを利用する。
	温暖化防止	「工場等におけるエネルギーの使用の合理化に関する事業者の判断基準」の「新設に当たっての措置」に準じて設備の導入などを検討する。
水循環	敷地内に緑地帯を設け、敷地内浸透の計画とする。	
廃棄物	廃棄物処理法及び建設リサイクル法などに基づき、建設廃棄物の分別処理、再資源化等に努める。	
発生土	建設発生土は可能な限り埋め戻し等で再生利用し、工事間流用などを行うが、再生利用できない発生土については指定処分により適切な処理を行う。	

● 審議結果通知書及び措置状況報告書の概要

通 知 事 項	措 置 状 況
<p>1 環境配慮の内容等について見直しが必要と認められる事項 なし</p> <p>2 基本計画の策定にあたり考慮すべき事項 ①「省エネルギー」・「温暖化防止」について、「工場等におけるエネルギーの使用の合理化に関する事業者の判断の基準」の新設に当たっての措置に準じた設備の導入に努めること ②工事中における「悪臭」については、周辺地域への十分な環境配慮を行うこと。</p> <p>3 その他</p>	<p>①照明設備についてはLED照明器具を導入する。トイレ等の使用に不必要な時間帯がある場所については人体感知装置を設置する。また、太陽光発電設備を導入する。</p> <p>②工事の進捗に合わせ、対象工事の事前に近隣住民と密な連絡を図り、騒音粉塵悪臭対策に留意する。</p>